



みんなで笑顔を生み出すために

4月になり、新チームJが始動しました。今年度は、城端小学校の目標には、「+1」が加わりました。子供自身が自分や友達の笑顔を生み出すために温かい人間関係づくりに努めていける学校を創りたいと思います。

挨拶についての話をしていた時のことです。「思いが伝わる挨拶がある。そんな挨拶をされると、うれしさが溢れ笑顔になる。」という経験談を話した子供がいました。そこで、「挨拶で思いは伝わるのか」というテーマで話し合いを進めると、「伝わる」と答えた子供が多数いました。詳しく聴いていく中で、「挨拶の言葉だけだと上辺だけいいようにしているような感じがする。自分が相手に気持ちよくなってほしいという思いが強ければ、自然と言葉、表情、動きの全てが変わってくる。だから私は、どのように挨拶をするのかではなく、相手にどう思ってもらいたいのかをよく考えて挨拶をしていきたい。」と語った子供がいました。それを聴いた周りの大人や子供は、挨拶が思いやりの心を育てることを改めて再認識し、自分の挨拶や考え方を見直す子供が多数出てきました。

みんなで笑顔を生み出すために、機械的に挨拶をするのではなく、思いやりから生まれる温かいコミュニケーションをとる力を培っていけるようにチームJの教職員一同でサポートしていきます。

生徒指導担当 高口 和士

教育活動から

入学おめでとう集会

一年生のうれしそうな笑顔がいっぱいでした。



1年生 給食当番を始めました
盛り付けも上手になりました。



3年生 ギフチョウの卵探し
とてもきれいな卵ですね。



2年生 野菜の苗植え
おいしい野菜ができるといいね！



4年生 城端曳山祭宵祭
4月から練習をがんばりました。

ぽかぽかコラム ～アサガオのたねをまいたよ～

5月9日（金）、生活科の時間に、アサガオの種をまきました。12日（月）の朝、家から持ってきたペットボトルに水をくんで、水やりをしています。「早く、芽が出ないかな」と待ち遠しい気持ちでいっぱいです。

一週間前、種を見たり触ったりして、子供たちは、「しずくみたいな形」「ごつごつしている」と、なかなか鋭い観察眼をもって見ていました。今まで見たことがあるもので似ているものは何かな、それはどんな名前だったかな…。ああでもない、こうでもない考える時間がとても大切です。

アサガオは、これから芽を出し、子葉や本葉を広げ、やがてつるを伸ばして上へ上へと伸びていき、子供たちを楽しませてくれるでしょう。アサガオと同じように、子供たちも、昨日より今日、今日より明日へと着実に「+1」を積み重ねていってくれることを期待しています。



1年生担任 堀川 桂子

〈朝の水やり〉